

簿記3級 校内テスト第2回

ヒラノ簿記学校

問	問題文	正解
1	<p>商品売買取引の記帳方法には（１）があります。この方法では仕入時、（２）勘定の借方に（３）の金額を記入します。売上取引時は（４）の金額分（２）勘定を減少させ、売価との差額で商品販売損益が明らかになります。決算整理仕訳は（５）です。</p> <p>1（１．三分法）（２．仕入）（３．購入代価）（４．売上原価）（５．不要）                  2（１．分記法）（２．仕入）（３．購入代価）（４．仕入原価）（５．必要）                  3（１．三分法）（２．仕入）（３．仕入原価）（４．販売価額）（５．不要）                  4（１．総記法）（２．商品）（３．仕入原価）（４．販売価額）（５．必要）                  5（１．分記法）（２．商品）（３．仕入原価）（４．売上原価）（５．不要）</p>	5
2	<p>商品売買取引の記帳方法には（１）があります。この方法では、仕入取引時に（２）勘定の借方に（３）を記入し、売上取引時に（４）勘定の貸方に売価を記入します。決算整理仕訳は（５）です。</p> <p>1（１．三分法）（２．仕入）（３．仕入原価）（４．売上）（５．必要）                  2（１．分記法）（２．仕入）（３．購入代価）（４．売上原価）（５．必要）                  3（１．三分法）（２．仕入）（３．仕入原価）（４．売上原価）（５．不要）                  4（１．総記法）（２．商品）（３．購入代価）（４．販売価格）（５．不要）                  5（１．分記法）（２．商品）（３．仕入原価）（４．売上）（５．不要）</p>	1
3	<p>1 商店は以下の甲商品の売買取引を行いました。純売上高は（１）です。</p> <p>商品の払出金額の算定方法に先入先出法を採用していた場合の売上原価は（２）であり、期末商品棚卸高は（３）です。また、商品の払出金額の算定方法に移動平均法を採用していた場合の売上原価は（４）であり、売上総利益は（５）です。空欄にあてはまる金額がすべて正解の記号を答えなさい。</p> <p>4/1 前期繰越 20個 (@320円)                  5/10 仕入 100個 (@310円)                  5/20 仕入戻し 20個 (@310円)                  7/25 売上 80個 (@450円)                  8/10 売上値引 80個 (@10円)                  11/18 仕入 180個 (@300円)                  12/15 売上 150個 (@450円)                  2/20 仕入 70個 (@315円)                  3/15 売上 80個 (@450円)</p>	3

	<p>1 (1. 139,500円) (2. 94,650円) (3. 12,600円) (4. 94,990円) (5. 44,510円)</p> <p>2 (1. 139,500円) (2. 88,250円) (3. 51,250円) (4. 94,880円) (5. 44,620円)</p> <p>3 (1. 138,700円) (2. 94,650円) (3. 12,600円) (4. 94,880円) (5. 43,820円)</p> <p>4 (1. 138,700円) (2. 88,250円) (3. 51,250円) (4. 94,990円) (5. 43,710円)</p> <p>5 (1. 138,700円) (2. 94,850円) (3. 12,400円) (4. 94,650円) (5. 44,050円)</p>	
<p><b>4</b></p>	<p>次の各取引の仕訳を行うと、借方に「受取手形」勘定が記入される取引はいくつあるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川商店は茨木商店に商品 20,000 円を売上げ、代金のうち 12,000 円は当店振出の約束手形を裏書譲渡され、残額は掛とした。</li> <li>・北海道商店は青森商店に現金 1,000,000 円を貸し付け、同店振出しの約束手形を受け取った。</li> <li>・広島商店は商品 500,000 円を鳥取商店に売上げ、代金のうち 200,000 円は同店振出しの約束手形を受取り、残額は同店振出し小切手で受け取った。</li> <li>・長崎商店は大分商店に対する売掛金 80,000 円の回収として、当店振出、鹿児島商店宛、熊本商店受取の為替手形を裏書譲渡された。</li> <li>・愛媛商店は売掛金 100,000 円の回収として、高知商店宛、当店指図の為替手形を振出し、高知商店の引受けを得た。</li> </ul> <p>1 1つ</p> <p>2 2つ</p> <p>3 3つ</p> <p>4 4つ</p> <p>5 5つ</p>	<p><b>3</b></p>
<p><b>5</b></p>	<p>B商店は仕訳帳、総勘定元帳、商品有高帳、仕入帳、売上帳、売掛金元帳、買掛金元帳の7冊の帳簿に記帳を行っています。次の各取引は何冊の帳簿に記帳しなければならぬでしょう。すべて正解の記号を答えなさい。</p> <p>(1) B商店は原価 20,000 円の商品をC商店から仕入れ、代金は掛としました。</p> <p>(2) B商店は1商店に商品を10個 (@200円) で売り上げていたが、品質不良で2個返品された。</p> <p>(3) B商店はD商店から商品 50,000 円を仕入れ、代金のうち 20,000 円は当店振出、E商店宛て、D商店受取の為替手形を振り出して支払い、残額は掛としました。</p> <p>(4) B商店はE商店に商品を 40,000 円で売り上げていたが、その後品質不良のため 1,000 円の値引きを行うことになった。</p> <p>1 (1) 3冊 (2) 3冊 (3) 4冊 (4) 2冊</p> <p>2 (1) 5冊 (2) 5冊 (3) 6冊 (4) 4冊</p> <p>3 (1) 5冊 (2) 4冊 (3) 5冊 (4) 5冊</p> <p>4 (1) 5冊 (2) 5冊 (3) 6冊 (4) 6冊</p> <p>5 (1) 3冊 (2) 4冊 (3) 5冊 (4) 4冊</p>	<p><b>2</b></p>

<p><b>6</b></p>	<p>当期の決算整理事項等は以下の通りです。当期作成する損益計算書に記載される「貸倒引当金繰入」の額と「貸倒損失」の額が正しい記号を答えなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決算整理前試算表には「受取手形」300,000円、「売掛金」200,000円、「貸倒引当金」4,000円の残高があった。</li> <li>・ 決算時、当期に計上された受取手形50,000円と前期に計上された売掛金3,000円が貸倒れていたが未処理であったことが判明した。</li> <li>・ 決算において、売上債権に対して2%の貸倒引当金を設定する。</li> </ul> <p>1 貸倒引当金繰入：6,000円      貸倒損失：53,000円</p> <p>2 貸倒引当金繰入：4,940円      貸倒損失：3,000円</p> <p>3 貸倒引当金繰入：8,940円      貸倒損失：50,000円</p> <p>4 貸倒引当金繰入：7,940円      貸倒損失：50,000円</p> <p>5 貸倒引当金繰入：9,000円      貸倒損失：53,000円</p>	<p><b>4</b></p>
<p><b>7</b></p>	<p>沖縄商店は営業用の車両200,000円を自動車販売を行う那覇商店から購入し、代金は翌月末支払うこととした。本取引の仕訳で（1）沖縄商店の貸方に記入される勘定科目と（2）那覇商店の借方に記入される勘定科目の組み合わせが正しいものを答えなさい。</p> <p>1   （1）買掛金   （2）売掛金</p> <p>2   （1）未払金   （2）未収金</p> <p>3   （1）買掛金   （2）未収金</p> <p>4   （1）未払金   （2）売掛金</p>	<p><b>4</b></p>